

国際政治

186

国際援助・国際協力の実践と課題

日本国際政治学会編

序論 SDGs時代の開発援助・国際協力の実践と課題	高柳 彰夫
途上国開発における現地化の機能	真嶋 麻子
自己規制イニシアティブとNGOの存在意義	林 明仁
紛争を経験した脆弱国をめぐる開発協力	西川 由紀子
人権に基づく転換的平和構築	片柳 真理
アフリカの内戦における人道アクセス問題と反乱軍	小林 綾子
JICAの平和構築支援の史的展開（一九九九ー二〇一五）	本多 倫彬
日本の援助理念としての自助努力支援の国際政治論的考察	宇田川 光弘
日米関係と政府開発援助	保城 広至
<hr/>	
インドの国際河川における紛争防止メカニズムの比較考察	天野 健作
<hr/>	
<書評論文>	
米国の対外関与のあり方を巡る論争	福田 潤一
<hr/>	
<書評>	
ウォルター・ラッセル・ミード著、寺下滝郎訳 『神と黄金（上・下）』	池内 恵
大庭三枝著 『重層的地域としてのアジア』	福田 保

2017年1月刊